

インクジェットプリンター お手軽レシピ

第10回 QRコード入りの名刺を作ろう

伊藤 華子 フリーライター

たかが名刺、されど名刺。公私いずれの用途でも、相手に伝えたい情報をどう盛り込むか、どう見せるか。小さな紙面を最大限に生かすには工夫が必要だ。今回は、メールアドレスのQRコードを貼り付けた両面名刺を作ってみよう。ちょっぴり自慢したくなりそうだ。



完成品 表面

〒108-0072
東京都港区白金 1-17-3
伊藤華子

TEL: 03-3xxx-5678
携帯: 090-1xxx-6789

裏面

PC メール
hanako@●●●.mail.ne.jp

携帯メール
hanako●●●@docomo.ne.jp

写真とQRコードを両面に配した名刺。写真はトリミングして影を付けてある。印刷後に専用ケースに入れて保管できるのも本格的

使った用紙製品

ハート: AUP020「インクジェット 名刺専用紙 プレミアホワイト 100枚函」630円
<http://www.heart-group.co.jp/>

名刺や封筒の製造販売メーカーによる製品で、手にした感じは「いかにも名刺」。両面印刷が可能で、名刺サイズにカットされているので使い勝手がよくムダもない。専用プラスチックケース付き

A4サイズの和紙タイプ

エーワン: 51061「マルチカード こだわりシリーズ 趣のある紙「雲」A4判 10面 名刺サイズ」630円
<http://www.a-one.co.jp/>

10面の名刺を一度に印刷できるA4用紙が8枚入った製品。和紙の風合いが個性的。片面印刷用



この講座では、インクジェットプリンターを活用し、手を動かす楽しさも味わいながら、役立つモノ作りをするための題材を紹介している。

今回のお題は“名刺”。単に名前や連絡先を記入するだけでなく、「QRコード」と呼ばれる画像を貼り付けて、注目度をアップさせる。プライベートはもちろん、仕事用にも十分使える名刺で、新しい出会いに彩りを添えよう。

サイズと表裏をチェック

製品選びの大きなポイントは、用紙サイズと、両面印刷が可能かどうか。今回は、名刺サイズで両面印刷が可能な製品を使った。

用紙サイズでは、今回使った製品のようにあらかじめカットされたタイプと、A4用紙に複数面が配置され、印刷後に切り分けるタイプがある。シンプルで割安なのは名刺サイズ、やや割高だが個性やこだわり感を出したいならA4サイズ、といった傾向があるようだ。

名刺サイズを選ぼうと思っても、小さい用紙を手持ちのプリンターでうまく印刷できるか心配な場合は、用紙の購入前にWord文書を作り、不要な名刺などで試し印刷をして確かめるとよい。

名刺サイズで情報を入力

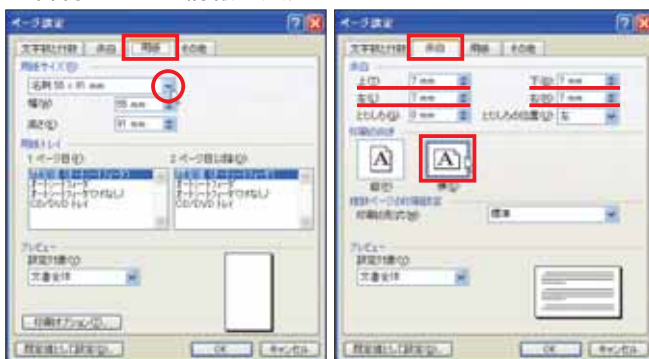


図1 Wordを起動し「ファイル」→「ページ設定」と選んだ後、「ページ設定」ダイアログの「用紙」タブで名刺サイズに変更する。名刺サイズがメニューにない場合は、幅を55mm、高さを91mmに設定。「余白」タブに切り替え、上下左右の余白を「7」に、印刷の向きを横向きにして「OK」